

島根県邑智郡桜江町小田方言の否定表現

岩城 裕之

I はじめに

- (1) 調査対象地：島根県邑智（おおち）郡桜江町は島根県のほぼ中央部、江津市から江川に沿って約14キロほど内陸に入ったところにある。江川に沿って、国道261号線、広島県三次と島根県江津を結ぶJR三江線が町内を横断している。列車の本数は日に7本、バスは、日に3本、江津と広島を結ぶ高速バスが停車する。自家用車が日常の主要な交通機関である。
調査地となった小田は、役場や駅のある川戸から八戸（やと）川に沿って徒歩で10分ほどに入った最初の集落である。戸数は約120戸ほどの、稲作を中心とする農業集落である。
- (2) 調査年月日時：1995年2月10日
- (3) 方言話者：大上重義（オーウエ シアヨシ） 大正15年8月生 農業
- (4) 調査者・調査場所：岩城裕之・大上氏の自宅居間
- (5) 調査方法・調査時の状況：配布された調査票に基づく面接調査。
- (6) 表記方法：A 複数回答については、回答順に①②の番号をふった。
B 単一回答の前、文例、説明文の前には○印を付した。
説明文、例文の後には共通語訳を示してある。
C 話者の説明は（）内、筆者の解釈や注記は<>内に示した。
D ★は調査票にはなかったもので、参考事象である。
E アクセントは棒引きで示す。

できる限り文単位で記述することを心がけたが、そうはなっていない項目もある。なお、句点は、筆者が文相当の発話であると判断したものの後に付した。

II 調査結果

動作・作用の否定表現

- 1 行かない ○キョーワ イカン デー。
- 2 降らない ○アミヤー フラン ー。
- 3 行きません ○キョーワ イキマセン。
- 4 行きはしない ○イキヤーセン
- 5 いらっしやらない ①イカレマセン ②イキンサラン （○マーマー デーネーナ ホーデス ー。 [イキンサランの方が]まあまあ丁寧なほうですね。）
- 6 行かなかった ○イカンカッタ デー。

- 7 行きはしなかった ○イキヤー センカッタ デ。
- 8 行くまい ○キョーワ アメガ フリソーナケー ドコエモ イクマー。
- 9 出まい ○デマー デー。
- 10 すまい ○スマー テー。
- 11 降らないだろう ○キョーワ アミヤー フランダロー。
- 12 降るに違いない ①ラルニ チガヤー セン デー。 ②ラルニ チガーヤー
スマージャー ナー カイ。
- 13 来ない ○キョーワ ダレモ コン デー。
- 14 来はしない ○キョーワ ダレモ キヤーセン デー。
- 15 来なかった ○キョーワ ダレモ コンカッタ デー。
- 16 見ない ○ミン デー。
- 17 居ない ○オラン デー。
- 18 行かずに ①ドコエモ イカンコー イエニ オラー ヤ。 ②ドコエモ イ
カンコーニ イエニ オラー ヤ。(○ニ チュー コトー イレレバ チョット
ヒョージュンゴニ チコー ナツテ クル。ムカシノ ヒトワ ソノ ミワ イレ
ンカッタデス。「に」ということを入れればちよっと標準語に近くなってくる。)
- 19 行かなくても ○ワザワザ イカーデモ エカロージャ ナー カー。
- 20 行かなければ ①イカニヤー エカッタ。 ②イクホドノ コター ナカッタ。
- 21 行かねば ①ドーデモ イカニヤー ヤレン カー。 ②ドーデモ イカザー
ヤレマー。(○トシヨー トツタ ヒトガ イカザー ユー コトー ユー。

年をとった人が「イカザー」ということを言う。)

- 22 行かねばならない 先の項目21を参照のこと。類例あり。
- 23 ~ズ(ヤ・ジャ・ダ) このような言い方はしない。
- 24 行きもせず、来もしない ○イキヤー センシ キモ セン。
- 25 行くか行かないかわからない ○イコーカ イクマーカ ワカラン。
- ★ 出ない(下一段動詞+ない) ①デラン デー。 ②デン デー。

<調査票に挙がっていた動詞では、下一段動詞に「ない」が下接したものはなかったが、自然談話で「出ない」が出現した。この時、「デラン」という、五段化の現象が観察された。ただし、これが下一段動詞一般にみられる一般的な現象であるとはいえない。>

存在・状態・判断の否定表現

- 26 無い ○コレシカ ナーダー ヤ。
- 27 無い ○コトシノ ヨーニ アツー トシヤー ナー ワーヤ。

- 28 ありはしない ○アリヤー セチー ヤ。
- 29 無かった ○コガナーナ トシワ チカッタ ー。
- 30 ありはしなかった ○コガナーナ トシワ アリヤー センカッタ ー。
- 31 無いだろう ○ナカロージャ チー カイ。 <「なかるう」の形で得られた。 >
- 32 無ければ ○チケニヤー ーダガ ノー。
- 33 暑くない ○アツー チー ー。
- 34 暑くはない ○アツーワ チー。 <先の項目33と比較すると、「は」は「ワ」の挿入によって表現されていることがわかる。35、36も同様である。 >
- 35 暑くなかった ○アツー チカッタ ー。
- 36 暑くはなかった ○アツーワ チカッタ。
- 37 暑くないだろう ①アツー ナワロージャ チー カ。 ②アツー チイダロー。 (①の方を頻用。)
- 38 涼しくない ○キョーワ スズシュー チイ。
- 39 にぎやかでない ①ニギヤカジャー チイ ー。 ②ニギヤカニ チイ。
<使い分けについては明確な教示を得ることができなかった。 >
- 40 にぎやかではない ○ニギヤカジャー チイ ー。
- 41 にぎやかでなかった ○アンマリ ニギヤカジャー チカッタ ー。
- 42 にぎやかではなかった ○アンマリ ニギヤカジャー チカッタ ー。
- 43 にぎやかではなかるう ①ニギヤカジャー ナワロージャ チー カイ。 ②ニギヤカニヤー アルマージャ チー カイ。 (②のほうが多い。)
- 44 花ではない ○アリヤー ハチジャー チー デー。

特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

- 45 だめだ(不可) ①アガナーナ コト ヤッチャー ツマラン。 ②アガナーナコト ヤッチャー サエン デ。(○ドッチモ ツカウデス 系。[①も②も]どちらも使いますね。)
- 46 だめな(不可) ①ツマラン ヤツダ。 ②モトーラン ③ウダツガ アガラシ ヤツダ。(○[②について]ヨホ下 キツイ コトバニ チルデス 系。[モトーランは]よほどひどい言葉になりますね。) <②は○アイツワ モトーラン。のように使う。 >
- 47 つまらない ○ツマラン コトー ューナ ヤー。
- 48 いけない(禁止) ○イツタラ イケン。
- 49 行カレン(禁止) 「行カレン」を禁止の用法で使うことはない。類例もなし。

- 50 行くな（禁止） ○イクナー ヤ。
- 51 するな（禁止） ○スルジャナー ナー ヤ。
- 52 行くもんじゃない ○イクジャー ナー。
- 53 たまらない ①アツテ タマラン ノー。 ②アツテ ヤレンジャ ナー
カー。
- 54 しかたがない ○ショーガ ナー デー。
- 55 楽ではない ○ラグジャー ナーケー。
- 56 歩きたくない ○アルキトー ナー ワーヤ。
- 57 大丈夫だ ○ジャーナー ワーヤ。（「ジャーナー」の共通語訳は「世話はない」になる。「大丈夫だ。世話をしなくてもよい。」との意味であるとの教示があった。）

否定の応答表現

- 58 いや ①イヤー ②ヤー （②のほうが多い。親しい人などではもっぱら②を使う。）
- 59 いや（強い否定） ①イヤーイヤー ②ヤーヤー （トに同じ）
- 60 いいえ ○イーエ
- 61 いや（「降らなかったか」という否定問いかけに対する応答）
降っているとき ①ウン フットラン デ。
降らなかったとき ②ヤ フットル デ。
（○ヒデーリ サギー ツケンノンデス ワ。[通常は] 否定の言葉は最初にはつけないのですよ） <「はい」「いいえ」という言葉をつけることは稀であるとの教示を得た。あえて言うとしたら、との設定で調査したが、答えにくそうな感じであった。>
- 62 どういたしまして ○ヤーヤー タイシタ モンジャ ゴザイマセンケー。

不可能の表現

- 63 できない ○ソガーナ コター デキン ヨー。
- 64 読むことができない（状況） ○クラーク ヨマリヤー セナー ヤ。
- 65 読むことができない（能力） ○マダ コトモダケー シンブンオ ヨマー
ヨー ゼマー デ。
- 66 出られない（心理的状況） ○コガーナ ハデナモノー キデー ソトー デ
ラリヤー セナー ヤ。
- 67 食べられない ○コリヤー クワダケジャケン ア 【①クラリヤーゼン デ。

/ ②タベラリヤー セン デ。 } <クワダケは毒茸のこと。>

68 食べることができない ○イソガシユーテ ヒルメジャー 下トー クワリ
ヤー センカッタ。

反語・反発の強調表現

69 知るものか ○ソガーナ コター ワシャー シラン ヨ。 (○シルカワ
アンマリ ユワンデス ワナー。 「知るか」と言うことはあまり言わないですよ。)

70 誰が行くものか ○ダレガ イコー ニヤー。

71 なんで行くか (行くものか) ○ナーシテ イカニヤー ヤレン カナー。

72 なんで恥ずかしいものか (なんで恥ずかしかるうか) ○ハズカシー コター
ナーダケー。 (「どうして～」という言い方はしない。)

73 行かないでおるものか (行くとも!) ○ワシヤー イテ デー。

74 やれるか ○ヤレリヤー セン。

75 シテイラン こう言った言い方はしない (○イママデ ワシ キータ コトモ
ナイシ ユータ コトモ ナイ。 今まで私は聞いたこともないし、言ったことも
ない。)

特定の副詞の関わる否定表現 (付 否定形式の見られる特定副詞)

76 少しもはかどらない ○イツソ ハカドランジャ ナー カイ。

77 ぜんぜんできていない ○ゼンゼン デキトラン。

78 いっこうに降らない ○イツソ フラン ヨナー。

79 あまり降らない ○アンマリ フラン ナー。

80 (予想外に) たくさん ○ドヒヨーシモ ナー 下レタ。

その他否定形式の関わる諸表現

81 いいではないか ○ワザワザ イカーデモ エージャー ナー カイ。

82 いいのではないか 「エーノント チャウ カ」といった言い方はしない。

83 いいかもしれない ○イカーデモ エカロージャ ナー カイ。

84 行かないか ○イコージャー ナー カイ。 <下降>

85 くないか ○コレオ モットツテ ゴゼー ヤ。 (○サイキンワ モット
ツテ クレー ユー コトモ アルデス。 最近では「モットツテ クレー」というこ
ともあります。)

86 くれませんか ①モットンチャサラン カ。 ②モットンチャンサイ ヤ。

(①のほうが少し丁寧な感じがする。)

87 下さいませんか ○コレオ モットッテ クダサイ。

88 行かないと(勸奨) ○ハヨー イカンニヤー オクレル デ。

III 総括

「ない」は助動詞の場合「ン」となり、形容詞の場合は [ai] の連母音が [a:] となり、はつきり「ナー」と聞こえる。同様に「まい」は「マー」となっている。安芸から石見に連なって広がる現象である。

「～はない」は、いくつかのパターンがある。動詞に接続するときは「～ヤー セン」となり、例えば「イキヤーセン」のように「行き・は」の縮約形が拗音で現れた。一方、形容詞に接続するときは「～ワ ナー」、形容動詞に接続するときには「～ジャー ナー」となる。「～ずに」は「～(打消) コー」、「～ねば」は「～ニヤー」であるが、古形として「～ザー」が確認された。また、出雲・石見には「ダッタ(ンダッタ)」が盛んだと言われるが、今回桜江町で得られた過去・完了の否定法は「ンカッタ」である。調査地へ向かう途中、広島県との県境に近い所にある邑智郡石見町では「イカダッタ」を六十代の女性が言うのを聞いた。「ダッタ」は出雲や石見に著しいとされているが、今回桜江町では得られなかった。

不可能表現は、項目65の能力可能だけが「ヨー ○オン」の形で出現した。ただし、能力可能と状況可能の使い分けが本当になされているのかは、もう少し調査を待つ必要があるように思う。

最後に、下一段活用動詞「出る」に「ない」のついた形で「デラン」という、五段化の現象が観察されたが、「出る」だけの特別なものなのか、あるいはその他の下一段動詞に見られるものなのかは、現段階では何とも言えない。

(いわきひろゆき 広島大学大学院)